

身元調査

問7 お子さんなど、あなたの身近な人の結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で、気になることがありますか。次のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	回答者数	対総回答者数比
相手の学歴	340	17.16%
相手の経済力・収入	1,252	63.20%
相手の職業	942	47.55%
相手の家族の職業	273	13.78%
相手の家柄・血筋	329	16.61%
相手の国籍・民族	532	26.86%
相手の宗教	522	26.35%
相手の財産・負債	587	29.63%
特に気にしない	534	26.96%

(回答者数 1,981人 回収数比 96.97%)

問8 あなたは、ここ2～3年の間に就職や結婚に際して、近隣の人などに「聞き合わせ」したり、興信所など第三者を通じて「身元調査」しているのを、目撃したり体験したりしたことがありますか。どちらかに○をつけてください。

ある	99 4.85%	ない	1,887 92.36%	無効・無回答	57 2.79%
----	-------------	----	-----------------	--------	-------------

(有効回答 1,986人 回収数比 97.21%)

問9 あなたは、次のそれぞれの場合において、「聞き合わせ」や「身元調査」についてどう思いますか。次の(A)、(B)それぞれについてあなたの意見に最も近いものの番号1つに○をつけてください。

(A) 就職に際して

	回答者数	対総回答者数比
聞き合わせや身元調査をするのは当然だと思う	69	3.38%
どうしても知りたいことがあれば、聞き合わせや身元調査をしてもかまわない	201	9.84%
聞き合わせや身元調査は本来すべきではないが、調査することに対して、心情的には理解できる	809	39.60%
聞き合わせや身元調査はすべきでない	828	40.53%
無効・無回答	136	6.66%

(有効回答 1,907人 回収数比 93.34%)

(B)結婚に際して

	回答者数	対総回答者数比
聞き合わせや身元調査をするのは当然だと思う	114	5.58%
どうしても知りたいことがあれば、聞き合わせや身元調査をしてもかまわない	254	12.43%
聞き合わせや身元調査は本来すべきではないが、調査することに対して、心情的には理解できる	960	46.99%
聞き合わせや身元調査はすべきでない	591	28.93%
無効・無回答	124	6.07%

(有効回答 1,919人 回収数比 93.93%)

問10 お子さんなど、あなたの身近な人が次の(A)～(D)それぞれの人との結婚を望んでいる場合、あなたはどのような態度をとられますか。あなたの意見に最も近いもの1つに○をつけてください。

(A)障害のある人

	回答者数	対総回答者数比
反対する	120	5.87%
子どもの意志を尊重し賛成したいが、迷いながらも反対する	291	14.24%
心情的には反対だが、迷いながらも子どもの意志を尊重する	867	42.44%
まったく気にしない(反対しない)	149	7.29%
わからない	547	26.77%
無効・無回答	69	3.38%

(有効回答 1,974人 回収数比 96.62%)

(B)在日韓国・朝鮮人

	回答者数	対総回答者数比
反対する	260	12.73%
子どもの意志を尊重し賛成したいが、迷いながらも反対する	231	11.31%
心情的には反対だが、迷いながらも子どもの意志を尊重する	599	29.32%
まったく気にしない(反対しない)	359	17.57%
わからない	524	25.65%
無効・無回答	70	3.43%

(有効回答 1,973人 回収数比 96.57%)

(C) 外国籍の人		
	回答者数	対総回答者数比
反対する	143	7.00%
子どもの意志を尊重し賛成したいが、迷いながらも反対する	172	8.42%
心情的には反対だが、迷いながらも子どもの意志を尊重する	713	34.90%
まったく気にしない（反対しない）	396	19.38%
わからない	488	23.89%
無効・無回答	131	6.41%
(有効回答 1,912人 回収数比 93.59%)		
(D) 同和地区出身者		
	回答者数	対総回答者数比
反対する	125	6.12%
子どもの意志を尊重し賛成したいが、迷いながらも反対する	162	7.93%
心情的には反対だが、迷いながらも子どもの意志を尊重する	523	25.60%
まったく気にしない（反対しない）	610	29.86%
わからない	485	23.74%
無効・無回答	138	6.75%
(有効回答 1,905人 回収数比 93.25%)		

問7～10においては、身元調査について質問した。

■ 近親者の結婚相手に対する評価基準

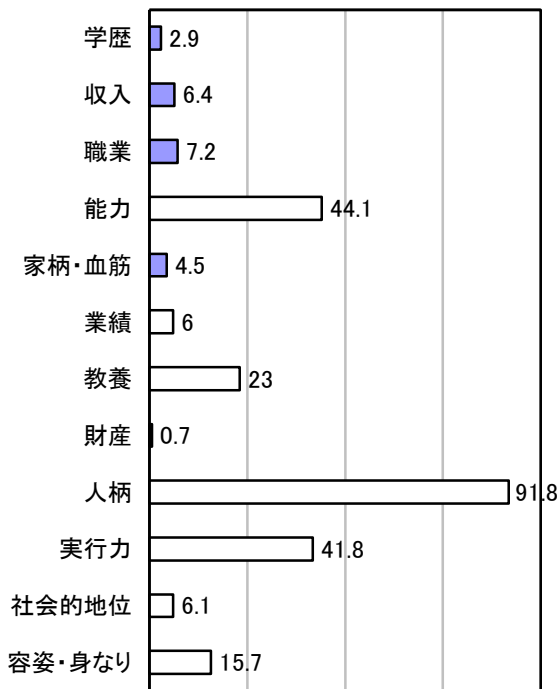
問7では、身近な人の結婚相手の評価基準や結婚に対する価値観について、「お子さんなど、あなたの身近な人の結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で、気になることがありますか。」という質問で調べた。

最も多かった回答は、「相手の経済力・収入」で63.20%の人が選択した。次に、「相手の職業」で47.55%、「相手の財産・負債」を29.63%の人が選択し、経済力に関連する項目が上位を占める結果となった。

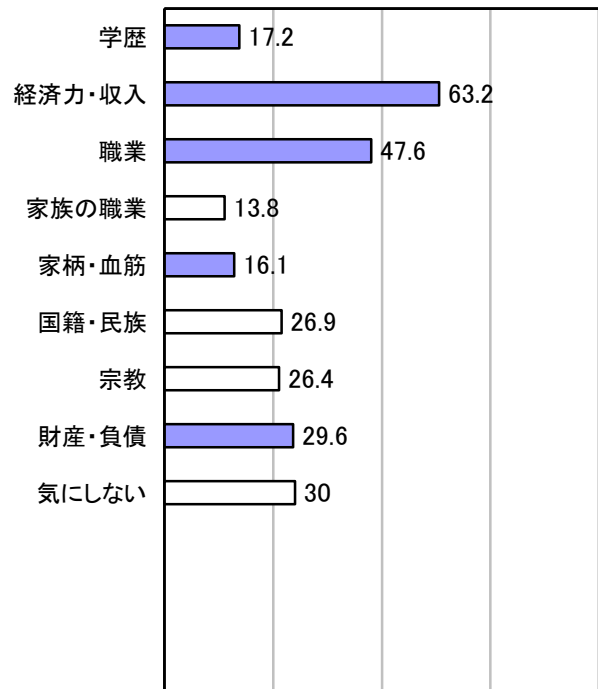
「相手の国籍・民族」の26.86%、「相手の宗教」の26.35%と、「特に気にしない」の26.96%がほぼ同水準で、約25%の人が選択した。

最も少なかった回答は、「相手の家族の職業」で13.78%の人が選択した結果となった。

回答比較（問1 他人の評価基準）



問1 他人の評価基準



問7 身近な人の結婚相手に対して気になること

■ 問1、問7 共通項目

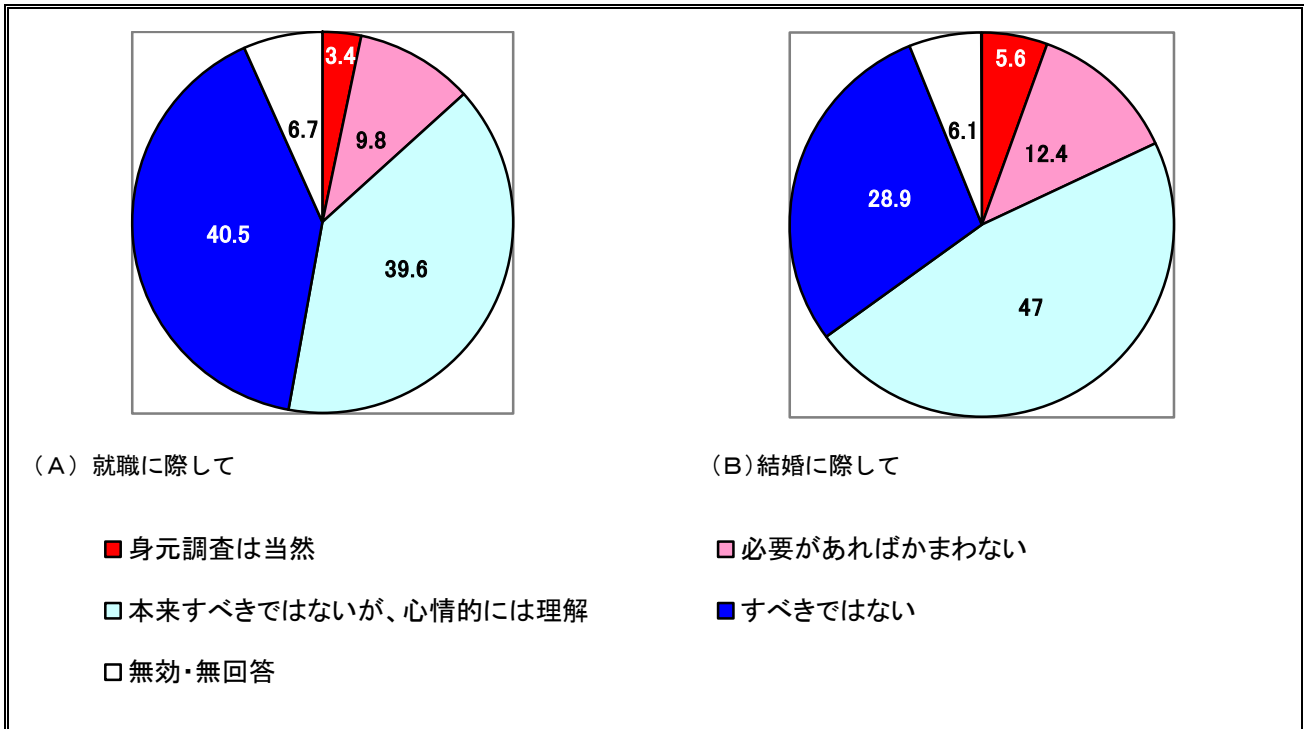
「他人の評価基準」(問1)と対比してみると、回答選択肢、回答数が違うため、単純比較はできないものの、問1の他人に対する評価・価値観では、ほとんど選択されなかった、「収入」や「職業」、「財産」など経済力に関連する項目が大幅に増えており、一般的な評価と、(身近な人の)結婚相手に対する評価とでは、それぞれ基本となる価値観が違ふと考えることのできる結果となった。

■ 身元調査の実態

問8では福知山市の身元調査の実態について、「ここ2～3年の間に就職や結婚などに際して、近隣の人などに聞き合わせしたり、興信所など第三者を通じて身元調査しているのを、目撃したり体験したりしたことがありますか」という質問で、調べた。

回答では、4.85%の人が身元調査を目撃または体験したことが「ある」と回答した。

■ 身元調査の是非



問9では就職、結婚それぞれの場面における、身元調査の是非について「あなたは、聞き合わせや身元調査についてどう思いますか。」という質問で、調べた。

就職の場面においては、「聞き合わせや身元調査はすべきではない」という意見が最も多く、40.53%の人が選択した。

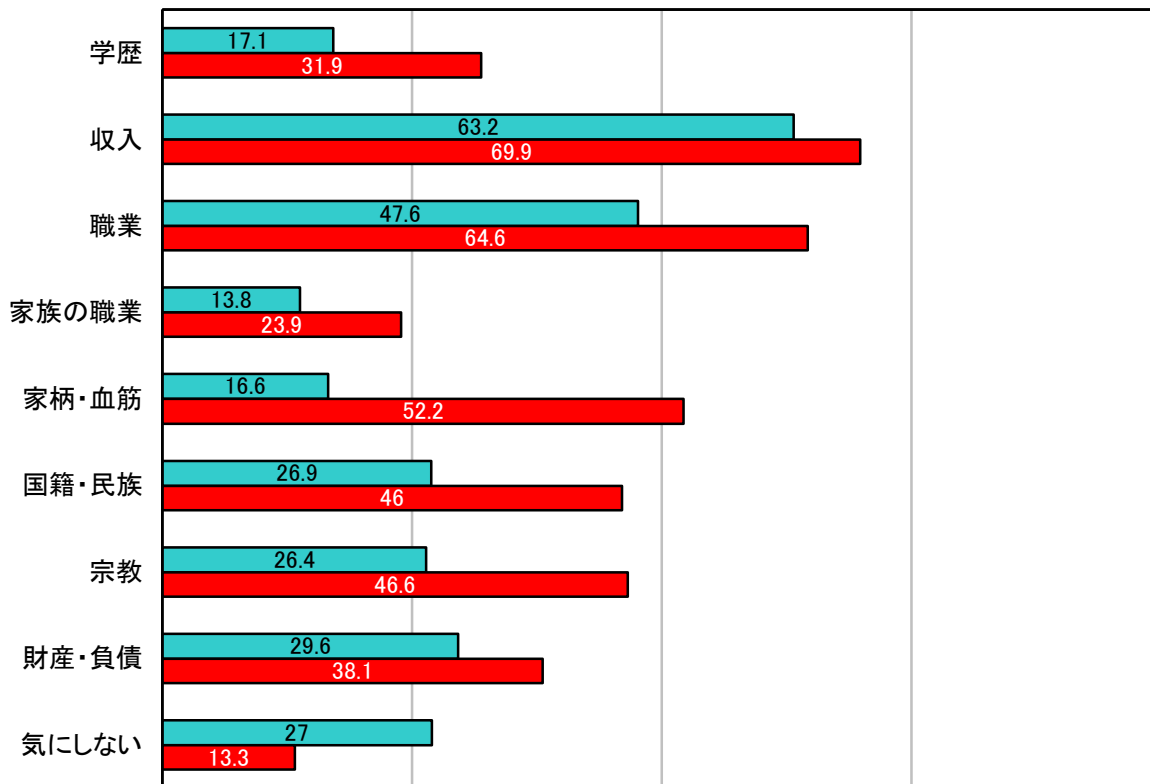
結婚の場面においては、「聞き合わせや身元調査は本来すべきではないが、調査することに対して、心情的には理解できる」という意見が最も多く、46.99%の人が選択した。就職の場合に比べると、やや身元調査に肯定的な意見が多い。

就職の場合において、「聞き合わせや身元調査は本来すべきではないが、調査することに対して、心情的には理解できる」の39.60%と、「聞き合わせや身元調査はすべきではない」の40.53%を合わせて、約80%の人が身元調査はしてはいけないと回答している。

結婚の場合においても、「心情的には理解できる」の46.99%と、「すべきではない」の28.93%を合わせて、約75%の人が身元調査はしてはいけないと回答しており、市民の間に高い水準で、「身元調査はいけないことだ」という認識が浸透している。

しかしながら、就職、結婚それぞれにおいて身元調査を「すべきではない」と答えた人以外の約6～7割の人は、実質的には身元調査を許容しているとも考えられる。

回答比較（問9-(B)回答別の身近な人の結婚相手にして気になること）



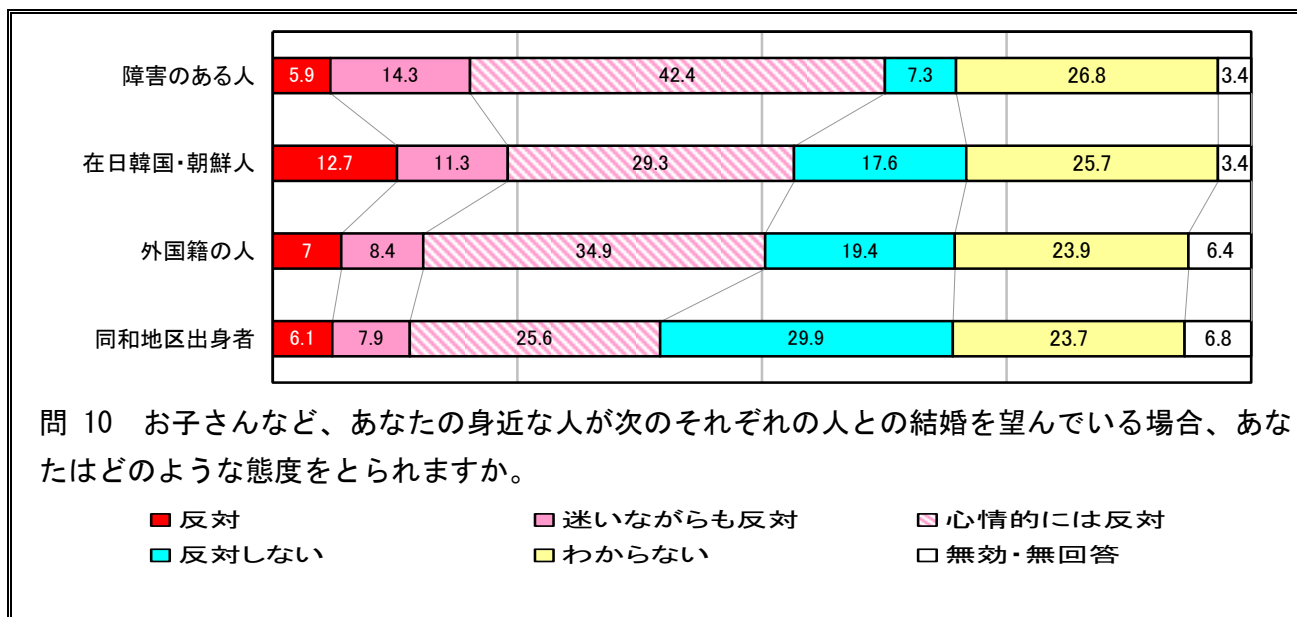
問7 お子さんなど、あなたの身近な人の結婚相手を考える際、相手の人柄や性格以外で、気になることがありますか。

■ 全体集計

■ 問9-(B)で「聞き合わせや身元調査をするのは当然だと思う」と答えた人

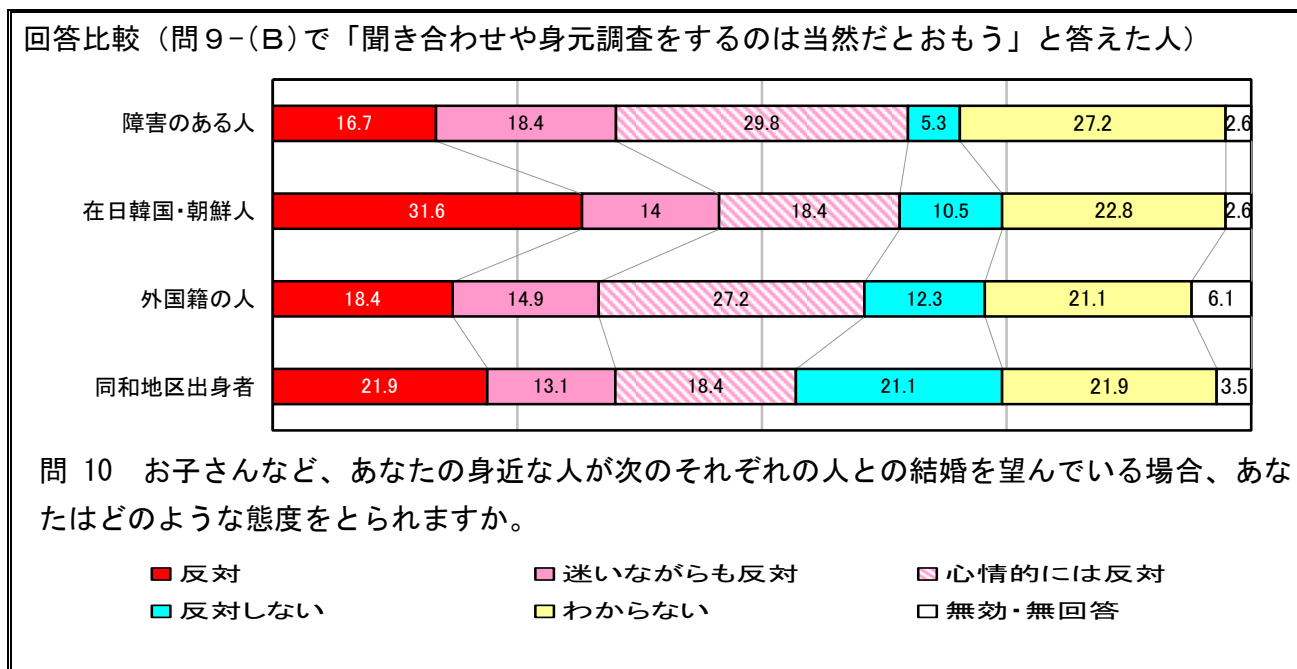
結婚の場合において、「聞き合わせや身元調査をするのは当然だと思う」と答えた人の、問7「身近な人の結婚相手に対して気になること」の回答状況を見てみると、全体的に「気になる」ことが多くなっているが、特に、「相手の家柄・血筋」(52.21%)、「相手の国籍・民族」(46.02%)、「相手の宗教」(41.59%)の項目を選択している割合が大幅に増加している。

■ 結婚に対する忌避の意識



問 10 では、障害のある人、在日韓国・朝鮮人、外国籍の人、同和地区出身者それぞれの場合における結婚の忌避の意識について質問した。

結婚に対して否定的な意見・忌避する意識（「反対する」「子どもの意志を尊重し賛成したいが、迷いながらも反対する」、「心情的には反対だが、迷いながらも子どもの意志を尊重する」）は、それぞれ、「(A) 障害のある人」で 62.55%、「(B) 在日韓国・朝鮮人」で 53.36%、「(C) 外国籍の人」で 50.32%、「(D) 同和地区出身者」で 39.65%と、いずれも「反対しない」を上回った。



問 9-(B)で結婚に際して、「聞き合わせや身元調査をするのは当然だと思う」と回答した人の結婚に対する忌避の意識を見てみると、すべての場合において、全体集計よりも結婚に対し否定的な意見が増

え、過半数を超えている。

前述の「聞き合わせや身元調査をするのは当然だと思う」と答えた人の「身近な人の結婚相手に対して気になること」の回答状況と合わせると、身元調査の背景には、「家柄・血筋」や「国籍・民族」などいわゆる出自を重要視する考え方があり、それは、実際の行動では、排除・忌避の行動としてより強く現れると考えられる。